

洪水氾濫対策

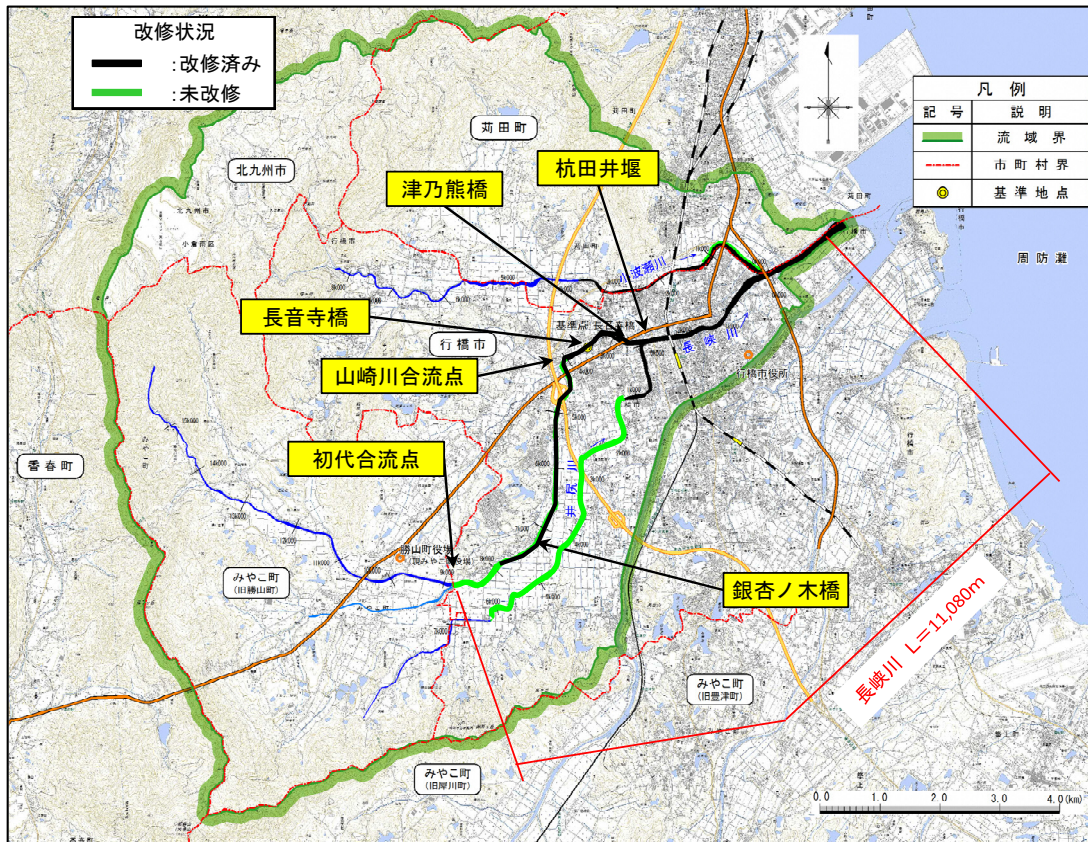
河道掘削・拡幅、護岸整備等(長峽川)

(福岡県の取り組み)

- 長峽川は、整備計画の目標流量を安全に流下させることができるように、河床の掘削、護岸整備等の河川改修を行います。
- 河川工事の対象区間は杭田井堰(2k542)から初代川合流点(9k000)までとします。関連する工事については、上記区間以外も対象区間として適切に実施します。

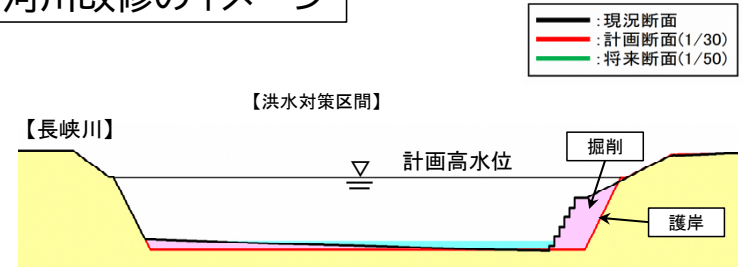
河川区域

位置図・写真



取り組み内容の説明

河川改修のイメージ



現況河道の写真

長音寺橋より下流の状況(護岸整備後)



銀杏の木橋より上流の状況(現況河道)



洪水氾濫対策

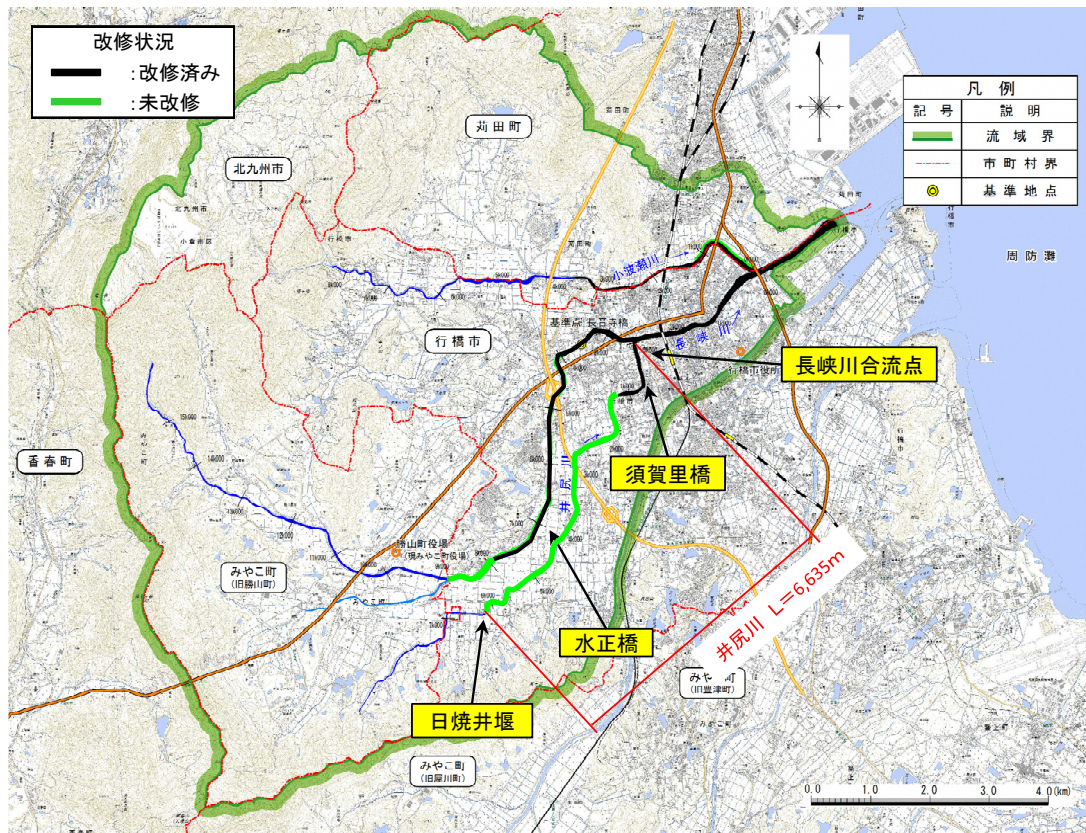
河道掘削・拡幅、護岸整備等(井尻川)

(福岡県の取り組み)

- 井尻川は、整備計画の目標流量を安全に流下させることができるように、井堰の改築、河床の掘削、護岸整備等の河川改修を行います。
- 河川工事の対象区間は長峡川合流点(0k000)から日焼井堰(6k240)下流までとします。関連する工事については、上記区間以外も対象区間として適切に実施します。

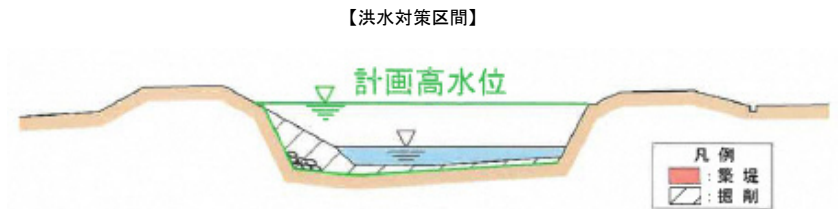
河川区域

位置図・写真



取り組み内容の説明

河川改修のイメージ



現況河道の写真

水正橋より上流の状況(現況河道)



須賀里橋より上流の状況(護岸整備後)



洪水氾濫対策

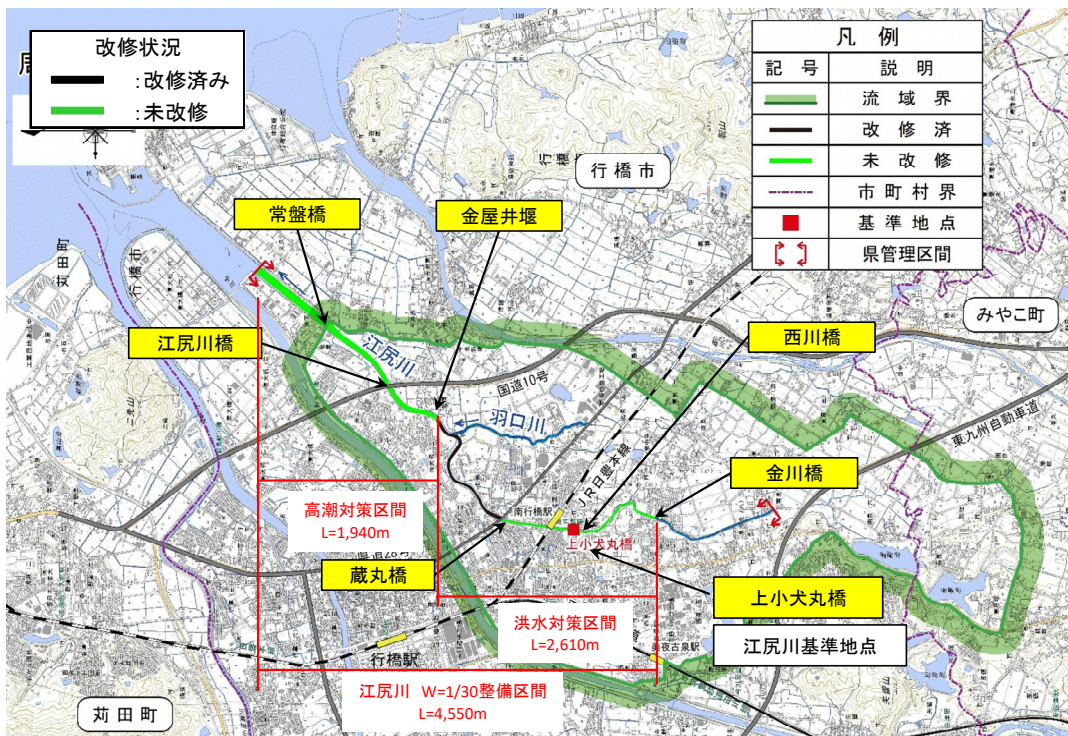
河道掘削・拡幅、護岸整備等(江尻川)

(福岡県の取り組み)

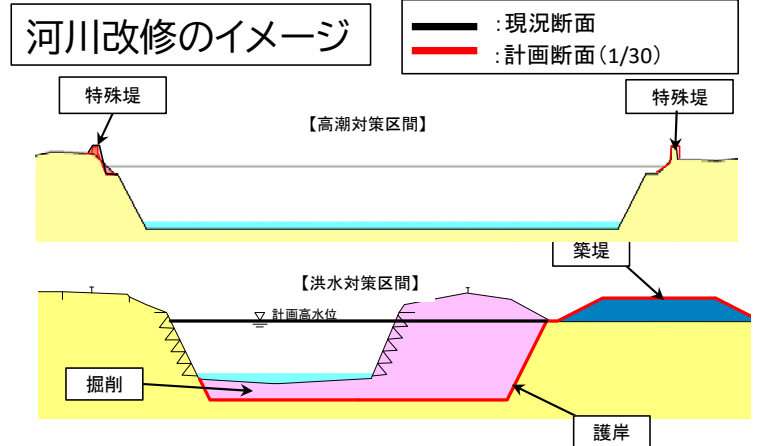
- 江尻川は、整備計画の目標流量を安全に流下させることができるように、河床の掘削、護岸整備、築堤等の河川改修を行います。また、下流部においては、津波及び高潮対策によるパラペットの整備等の改修を行います。
- 河川工事の対象区間は江尻川河口(0k000)から金川橋(4k550)までとします。

河川区域

位置図・写真



取り組み内容の説明



現況河道の写真

江尻川橋より下流の状況(1k200付近高潮堤防工事後) 蔵丸橋より下流の状況(護岸工事後)



砂防対策

砂防施設の整備、急傾斜地崩壊防止施設の整備

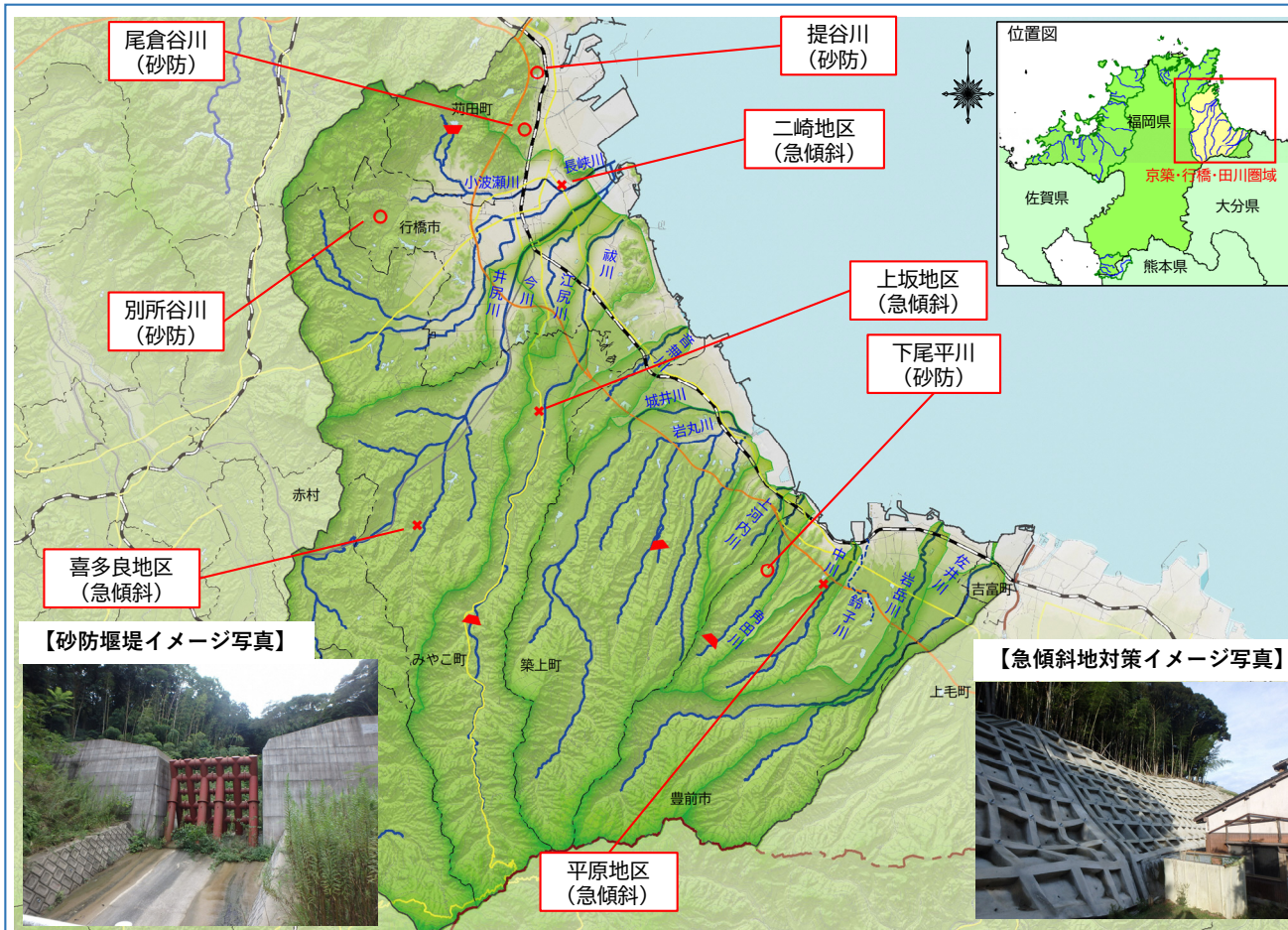
(福岡県の取り組み)

- ▶ 流域内の溪流における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるために避難所・避難路等を保全する急傾斜地の対策や地すべり対策を実施します。

河川区域

集水域

位置図・写真



【砂防堰堤イメージ写真】



【急傾斜地対策イメージ写真】



取り組み内容の説明

<各事業イメージ>

【砂防】



長雨や集中豪雨などで、山腹や谷川の石や土砂がいきにご下流に流れだす土砂災害を防止する事業

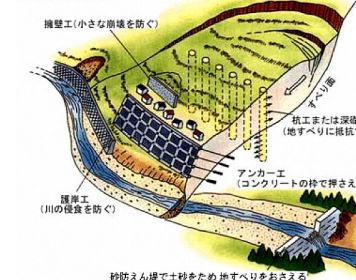
【急傾斜】

雨水がしみ込んで、やわらかくなった斜面が急に崩れ落ちる土砂災害を防止する事業



【地すべり】

抑止工の模式図



地盤が弱い土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が、地下水の影響と重力でゆっくり下へ移動する土砂災害を防止する事業

森林整備、治山対策

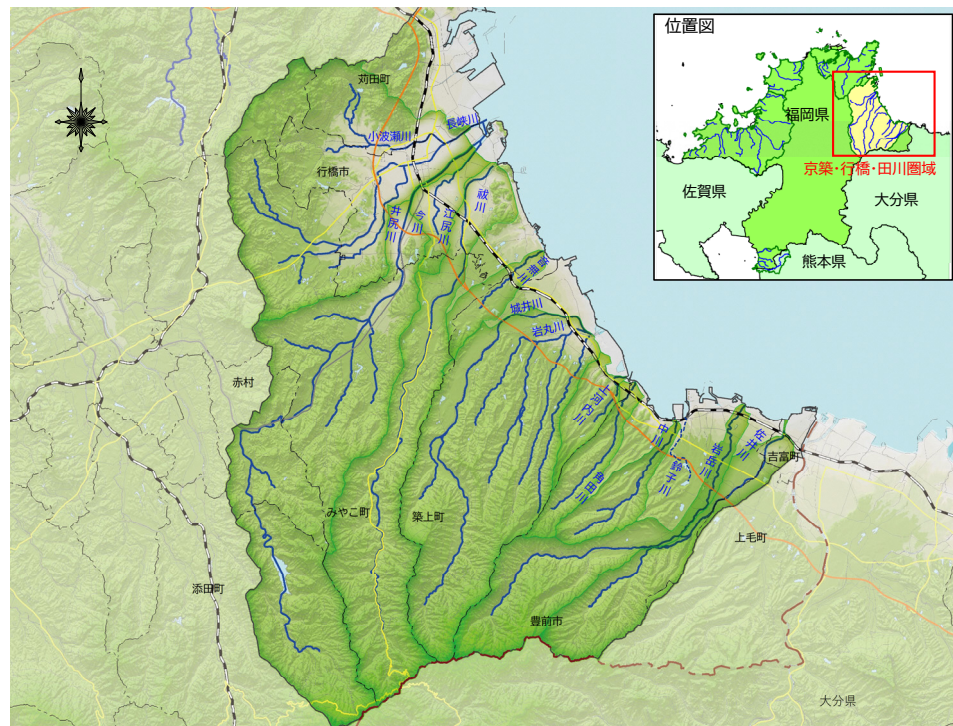
森林整備事業の実施
水源林造成事業の実施
治山施設の整備

(福岡森林管理署、森林整備センター、福岡県の取り組み)
(森林整備センターの取り組み)
(福岡森林管理署、福岡県の取り組み)

- 森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け、森林整備、治山対策を推進します。

集水域

■位置図・写真



【実施主体】※ 圏域一円で実施
・福岡森林管理署
・森林整備センター
・福岡県

■取り組み内容の説明

間伐等の森林整備の実施により雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を保全するとともに、治山事業の実施により流木・土砂の流出抑制効果を発揮させることで、流域全体における防災・減災対策に資する。

森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



住民等への防災情報の周知

様々な防災情報提供ツールや情報提供媒体を活用した防災情報伝達の強化・多重化

(福岡県の取り組み)

➤ 福岡県防災ホームページや防災メール・まもるくんを活用した適時適切な情報発信を行います。

氾濫域

■取り組み内容の説明

福岡県では、気象情報や避難所の開設・混雑情報等を分かりやすく提供し、住民の適切な避難行動につなげるため、福岡県防災ホームページや防災メール・まもるくんによる情報発信を行っています。

(1)福岡県防災ホームページ

食料品の日常備蓄や非常持ち出し袋の紹介など、防災に関する情報を発信するとともに、災害時には「避難指示」等の状況を地図上で分かりやすくお知らせする他、新型コロナウイルス感染防止対策としても有効な避難所の混雑状況も配信

<福岡県防災ホームページのイメージ>



(2)防災メール・まもるくん

災害時に気象警報発表状況や避難に関する情報、各市町村の避難所開設状況等を、あらかじめ登録されたメールアドレスに配信



防災意識の啓発

防災教育、出前講座の実施及び水防災学習の支援

(福岡県の取り組み)

▶ 子どもや高齢者、外国人など、ターゲットを絞った防災意識の向上を行います。

氾濫域

■取り組み内容の説明

福岡県では、きめ細かく意識啓発を進めるため、子どもや高齢者、外国人など、ターゲットを絞った防災意識の向上を図っています。

(1)防災出前授業

県内小学校を対象に防災に関する出前授業を実施

(2)高齢者向け防災パンフレット

シニア世代の防災の手引きを作成し、老人クラブや公民館等に配布

(3)外国人向け防災リーフレット

外国人向け防災リーフレット(7カ国語)を作成し、観光案内所や宿舎・ホテル等に配布するとともに、在住外国人向けに防災に関する出前授業を実施

(4)防災教育副読本

小学校の防災教育で使用する防災教育副読本を作成し、県ホームページで公開



リアルタイム防災情報の共有

水位計・量水標・河川監視カメラの設置

(福岡県の取り組み)

➤ 河川水位、雨量、河川監視カメラ、ダム情報などのリアルタイム情報をインターネットで配信しています。

氾濫域

■取り組み内容の説明

①「福岡県総合防災情報」にアクセス

福岡県総合防災情報 検索

<http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/info/top/menu>

QRコード

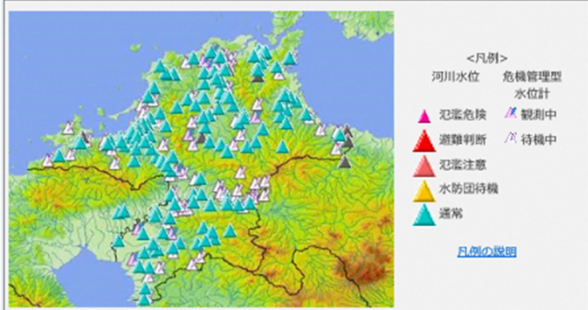


②トップページの河川情報－水位情報の「詳細表示」をクリック

福岡県総合防災情報

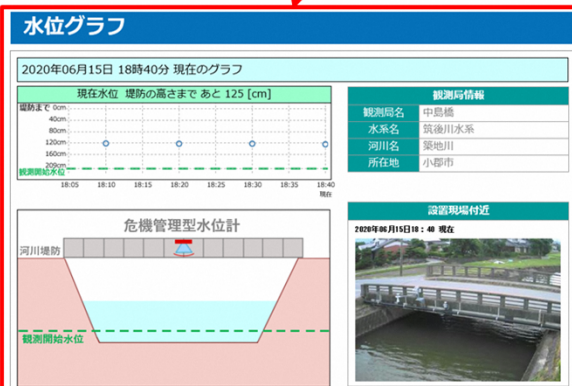
河川情報－水位情報

クリック



③メニューから危機管理型水位計をクリック
→危機管理型水位計一覧表から水位計を選択

河川名	局名	市町村名	現在水位 (堤防の高さまで)
築地川	中島橋	小都市	あと123cm
吉原川	遠賀郡遠賀町	あと64cm	
名栗川	平丸橋	あと194cm	
御坂川	山渡橋	田川郡香春町	あと162cm
善徳川	夜須橋	朝倉郡筑前町	あと86cm
戸切川	古川橋	遠賀郡遠賀町	あと42cm
山の井川	城島大橋	久留米市	あと345cm
須恵川	鳥橋	糟屋郡粕屋町	あと238cm
安宅川	馬場橋	田川郡川崎町	あと198cm
長延川	小れあい橋	八女郡広川町	あと141cm



③メニューから河川カメラ情報をクリック
→表示エリアから市町村を選択
→表示したい画像上でカメラ画像表示を選択



リアルタイム防災情報の共有

水位計・量水標・河川監視カメラの設置

(福岡県の取り組み)

- 福岡県では、危機管理型水位計の設置を進めています。
- 危機管理型水位計の水位情報は、県のホームページで公開し、避難判断に資する情報として市町村や住民へ提供しています。

氾濫域

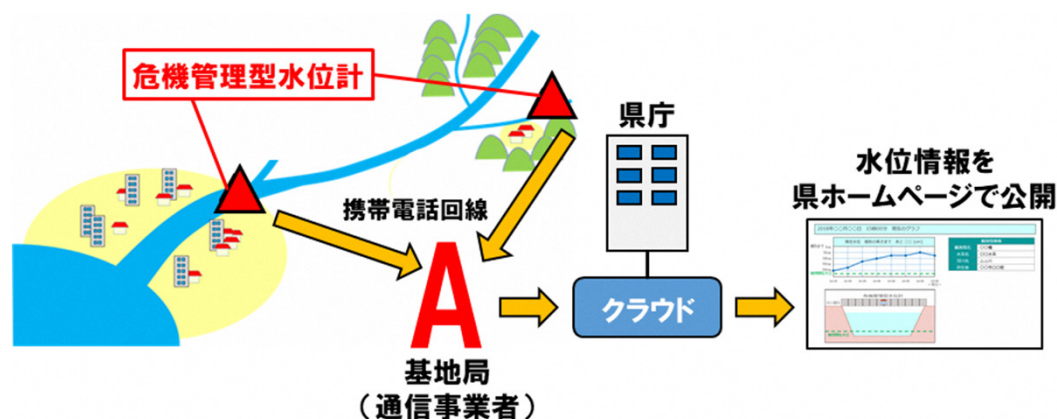
■取り組み内容の説明

◆危機管理型水位計とは……洪水時にのみ河川の水位を観測する低コストの水位計

<特徴>

- ・あらかじめ設定した観測開始水位を超過した場合に、水位の観測を行う。
- ・太陽電池で5年以上稼働。
- ・省スペースで、橋梁等への設置が可能。
- ・初期コストが安価。
- ・維持管理コストが安価。(※洪水時のみに水位を観測、携帯電話回線を活用)

<水位情報の伝送イメージ>



危機管理型水位計の設置事例
桂川(朝倉市内)

リアルタイム防災情報の共有

水位計・量水標・河川監視カメラの設置

(福岡県の取り組み)

- 福岡県では、簡易型河川監視カメラの設置を進めています。
- 簡易型河川監視カメラの画像情報は、県のホームページで公開し、避難判断に資する情報として市町村や住民へ提供しています。

氾濫域

■取り組み内容の説明

◆簡易型河川監視カメラとは……河川画像で洪水時の切迫感を伝える低コストのカメラ

<特徴>

- ・屋外に用意に設置できる。
- ・無線式の場合は、電源・通信ケーブルの確保不要。(無線、太陽電池等)
- ・機能を限定しコストを低減

簡易河川監視カメラ設置例



福岡県総合防災情報に
配信される簡易カメラ画像

観測所情報	
観測所名	犬丸渡橋
所在地	みやこ町犀川木井馬場
河川名	祓川



祓川犬丸渡橋(みやこ町犀川木井馬場)

防災意識の啓発

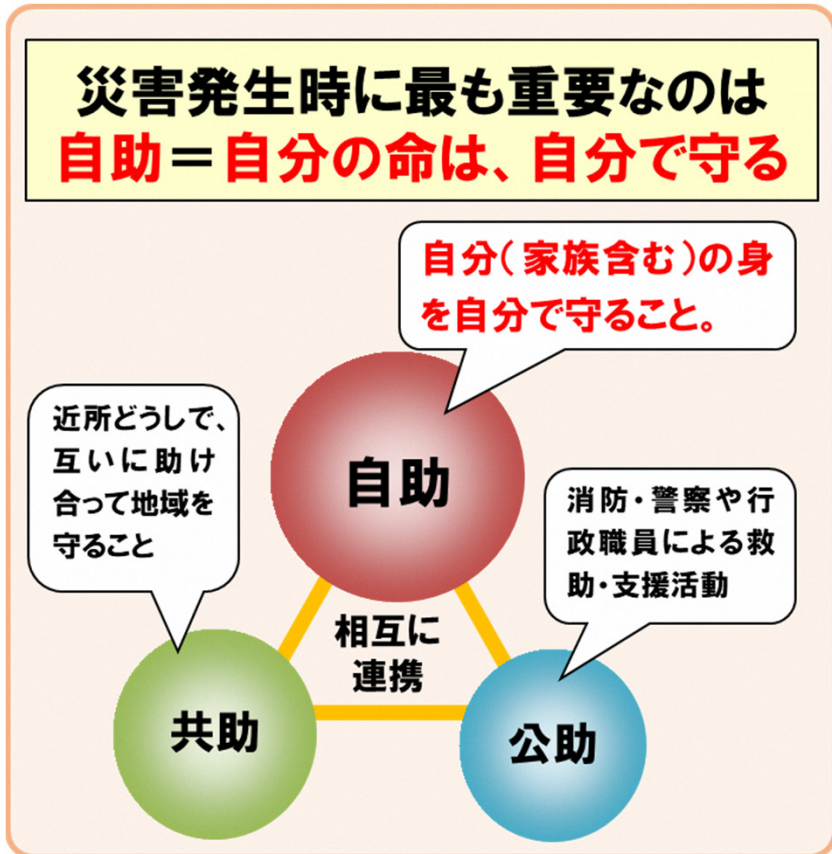
防災意識啓発のための広報活動

(福岡県の取り組み)

- 自主的な避難行動を促進することを目的に、洪水・高潮・土砂崩れなどによる災害に対する自助行動啓発パンフレットを作成しました。
- このパンフレットには、災害時に住民のみなさんが主体的に行動できるように、防災情報取得方法や活用方法などの解説、洪水や高潮、土砂災害などの災害発生のメカニズム等に加え、想定最大規模に対応した内容を掲載しています。

氾濫域

■取り組み内容の説明



< パンフレット 一式 >

< 概要版 >

平成30年版
風水害から自らの命を守るために
-自助行動のすすめ-

早めの避難行動をお願いします

◆避難するときのポイント ◆水平避難と垂直避難

危険と判断したらすぐに避難を！
・お年寄り、妊婦、小さい子どもがいる場合は、早めの避難を！
・夜の移動は危険 早めの避難を！
・虫より、できるだけ歩いて避難を！
・外に避難できない場合は、屋内の上の階か、斜面から遠い部屋へ緊急避難を！

避難行動には、①水平避難・②垂直避難があります。避難の際は、状況に応じて適切な避難行動を！

①水平避難(立退き避難)：その場を立退き、近所の安全な場所に一時的に避難
②垂直避難(屋内安全確保)：切迫した状況で、屋内の2階以上に避難

平常 → 緊急

水平避難(立退き) 安全な地域の確保など
水平避難(避難) 学校や自治会など
水平避難(避難) 近所の公民館、高校のグラウンドなど
垂直避難(避難) 避難場所の確保など

できるだけ早めの水平避難を心がけて下さい！

福岡県土整備部

福岡県ホームページ
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/self-help-action.html>

タイムラインの作成、ホットラインの構築

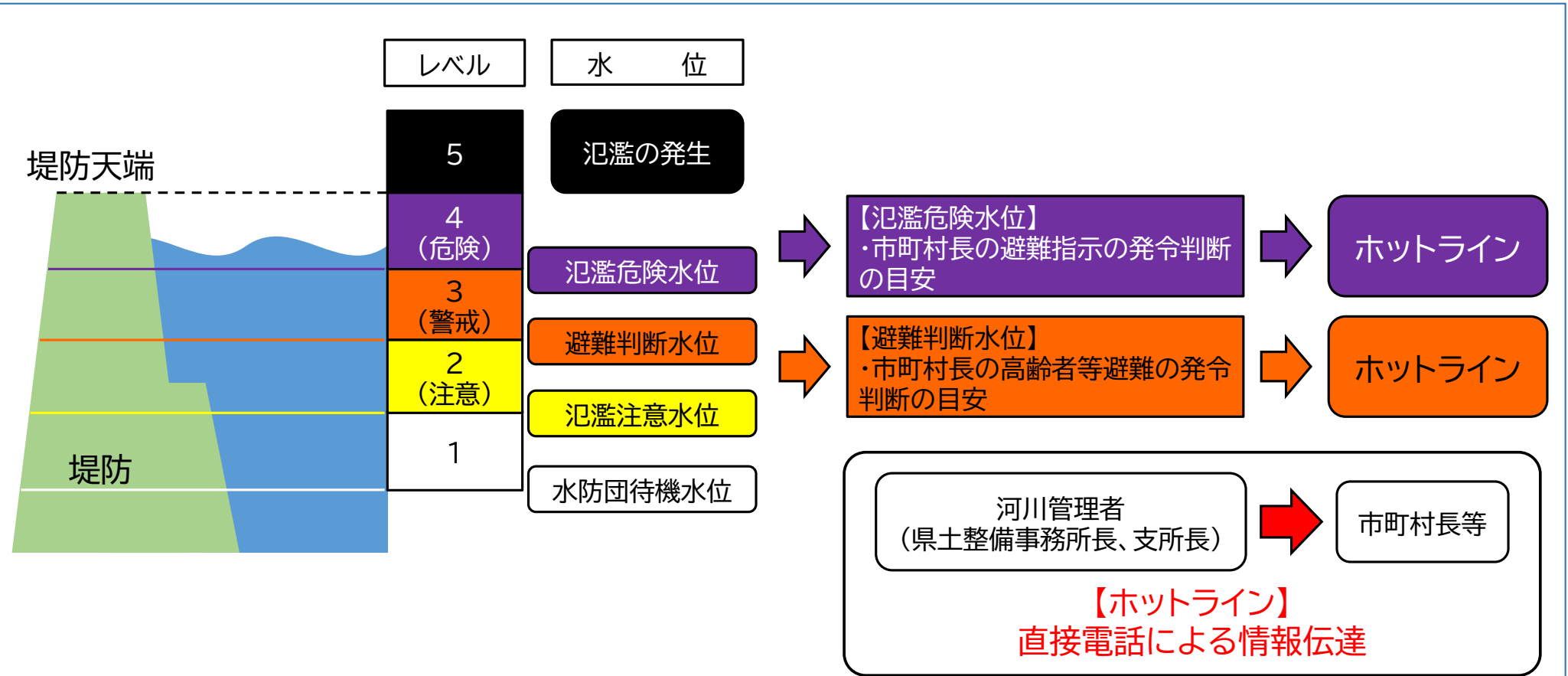
関係機関のホットラインの構築

(福岡県の取り組み)

- 河川管理者から直接、避難判断水位と氾濫危険水位に到達するタイミングで、市町村長などに対し確実に情報伝達を行うことにより、市町村長が行う避難指示等の発令にかかる判断を支援することを目的としています。
- 県が管理する水位周知河川においては、平成30年5月に市町村とのホットラインを構築し、運用しています。

氾濫域

■取り組み内容の説明



水害リスク情報の共有

各種浸水想定区域図(または過去の浸水実績範囲)の作成・公表

(福岡県の取り組み)

- 水害リスク情報として、小規模河川の洪水浸水想定区域図を作成・公表を順次進めています。
- 洪水予報河川と水位周知河川に指定された県管理河川41河川の洪水浸水想定区域図は、県のホームページで公開しています。
- また、浸水範囲や任意箇所の浸水深を福岡県総合防災情報の地図情報から確認することができます。

氾濫域

■取り組み内容の説明

①「福岡県総合防災情報」にアクセス

福岡県総合防災情報 検索

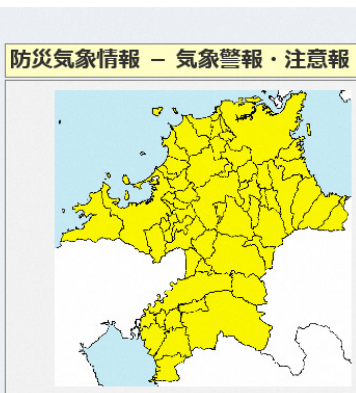
<http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/info/top/menu>

QRコード



②トップページの地図情報(GIS)をクリック

福岡県総合防災情報



③メニューから表示情報をクリック

→表示情報一覧から浸水想定区域にチェック



④地図上の任意の指定地点をクリック

→指定地点の浸水深が表示できます。

